



## 今、咲き誇る花たち

ソチオリンピックが閉幕しました。コブクロが歌う『今、咲き誇る花たちよ』（NHKソチオリンピック・パラリンピック放送テーマソング）の歌詞とメロディーが今も心に響いています。“散る日も枯れる日も未来の為 振り返らずに歩いた 強さと優しさ 胸を張れ” “今 咲き誇る花たちよ 天高く羽ばたけ 愛すべきこの世界の色を変える様に”。そして、今、咲き誇る花たち（活躍した選手たち）のコメントには、「感謝」「恩返し」の言葉があふれています。オリンピック本番だけでなく、そこにたどり着くまでにこそドラマがあり、大きな感動を呼ぶのでしょうか。3月7日から始まるパラリンピックも楽しみになりました。

**羽生結弦** 結果はすごくうれしい半面、自分の中で悔しい。金メダルの実感が沸かないこともあります。震災からの復興のために自分に何ができたのか分からない。複雑な気持ちです。震災当時、スケートができなくて、本当にスケートをやめようと思いました。生活するのが精一杯という中で、大勢の人に支えられてスケートを続けることができました。金メダルを取れたのは、被災した人たちや支えてくれた人たちの思いを背負ってやってきたからです。将来、震災からの復興のために何かできればと思っています。金メダリストになれたからこそ復興のためにできることがあるはずです。これがスタートになると思います。

**葛西紀明** いつかメダルをとって恩返ししたいと思ってやってきた。母親は、長野オリンピックの前に亡くしてしまいましたけども。本当に、いつも僕を支えてくれた、一番の大事な母でもあり。今も、妹は闘病中で、入院していますけれど、きょうの2位というメダルを取れたということで、妹も元気になってくれると思いますし。長年支えてくれた父親、そして、姉にも恩返しができるんじゃないかと思っています。

**竹内智香** ワールドカップ3回2位になって、最後の最後まで、同じような負け方をしたので、そこに対しては、ちょっと成長が足りなかったかなと悔しいです。今日は、本当にオリンピックが味方してくれたかのように、雪が硬くていいコンディションだったので、そのコンディションを作ってくれたことに感謝します。世界中の人たちが応援してくれただので、日本を始め世界中の人たちに感謝したいです。ありがとうございました。

**上村愛子** 私のメダルへの5回の挑戦は、7、6、5、4、4位。結局メダルは最後まで取れなかったけれど、後退する事なく進んだこの成績を、私は誇らしく感じています。ここまで支えてくれた全ての人達へ感謝の気持ちで一杯です。前を向いて、目標に向かって進める時間を与えてもらった、この人生に感謝しています。オリンピックは、苦しい事も悔しい事も悲しい事も、悩みを与えられる場所でもあったけれど、壁を乗り越えようと前進する力や、その先にある達成感、そして、心が一つに繋がれる奇跡をも与えてくれる場所でした。

**浅田真央** できるって思ってやって、これが自分がやろうと思ってた構成なので良かったです。昨日の演技はとても残念で、自分もすごく悔しくて、取り返しのつかないことをしてしまったなという思いはあります。今回のこのフリーは、しっかり自分が4年間やってきたことを、そしてたくさんの方に支えてもらったので、こういう五輪という大きな舞台で日本代表としてメダルという形でできなかったですが、私なりの恩返しができると思います。ありがとうございました。

### インフルエンザに関するQ & A

**Q** インフルエンザに感染した場合、学年末テストはどうしたらいいですか？

**A** インフルエンザは「出席停止」になりますので、学校に登校することはできません（発症日翌日を1日目とし、発症後5日経過し、かつ解熱後2日経過まで）。たとえ、その日がテストなどの大切な日であっても、他の人にうつる可能性が高いことから、例外ではありません。生徒や保護者の中には、テストを受けられなかったら成績が悪くなってしまうと心配している方もいると思いますが、テストを受けなかったから0点になることはありません。これまでの定期テストの結果や提出物の状況などから総合的に判断して評定をつけます。もし無理をしてテストを受けたとしても、体調が万全でないために実力が発揮できなく、その結果で評価されてしまうこともあります。

なお、高校入試については、この1回の結果のみで判断されることから、特別に別室で試験を受けることができるようになっています。